



# 沖縄高専だより

Okinawa National College of Technology



インターンシップ説明会



オープンキャンパス



体育祭



サマースクール



高専祭



合同企業説明会

## 目次

|                      |       |                     |    |
|----------------------|-------|---------------------|----|
| 1. 校長より…挨拶 一君よ、凛として… | 2     | 11. 地域連携事業          | 17 |
| 2. 卒業生へ贈る言葉          | 3     | 12. 香港研修旅行          | 17 |
| 3. 卒業にあたって           | 4~5   | 13. 学生会より           | 18 |
| 4. 学年の学生の様子          | 6~7   | 14. 寮生会より           | 18 |
| 5. インターンシップ体験記       | 8~9   | 15. 後援会会長挨拶         | 18 |
| 6. 就職・進学状況           | 10~11 | 16. 保健室より           | 19 |
| 7. 修了生へ贈る言葉          | 11    | 17. 平成24年度学生募集結果一覧  | 19 |
| 8. 修了にあたって           | 12    | 18. 90分授業の実施について    | 19 |
| 9. 高専祭               | 13    | 19. 平成24年度(前期)行事予定表 | 20 |
| 10. 学生の活躍            | 14~16 |                     |    |



# 挨拶

— 君よ、凛として —

校長 伊東 繁

この春、本科第4期生及び専攻科第2期生が卒業・修了し、4月には本科第9期生及び専攻科第4期生が夢と希望を胸に入学します。また今年、開学10周年の前年にあたります。今後も教職員一丸となって、より質の高い教育環境をめざし、不断の改革を行ってまいります。

今年度、本科4、5年生、専攻科1、2年生の学習教育に対する4つの技術者教育プログラムで、日本技術者認定教育機構(通称JABEE)の認定を受けました。これは、教育成果が高等教育機関として社会の要求する水準を満たしていることを認定し、その認証を与える制度です。

昨年6月には、「ALLやんばる科学と教育のまちづくり」プロジェクトを開始しました。宿泊型の科学イベントや名護市東江にオープンした施設「サイエンスランド」にてパソコンや顕微鏡など各種実験用具を常設し、毎日講習を開催しています。おとしよりやこども、おとなの方、どなたでも気軽に科学に触れて、楽しく学んでいただくことを目的としたものです。また8月に、第1回生涯学習講座を開催し、様々な専門的見地から、災害発生時における対応について提言をさせていただきました。本校の知見や研究活動の成果を地域に還元し、教育の活性化や豊かな街づくりの一助となるよう、今後も活動を拡げてまいります。

後援会及び産学連携協力会の皆様方におかれましては、本校の学校運営に関し、より一層のご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

さて先日、次のような琉歌に出会いました。

みやまらん  
深山咲く蘭ぬ  
にゆいま  
匂どうゆく増しゆる  
ひと  
たとうい見る人や  
う  
居らんあていん

“深山に咲く蘭の花は、たとえ見る人がいなくとも一層薫り高く咲いている”という意味です。

花は、我々に季節を語り、凛として咲き誇る姿に感動さえ覚えるときがあります。桜のように多くの見物客を集める花もあれば、人手の及ばない険しい山岳に、ひっそりと咲く可憐な花もあります。どの花が一番美しいなどと、誰が言えるのでしょうか。

人間も同じだと思います。人にはそれぞれ素晴らしい個性があります。日々精進し、学生諸君それぞれの個性を伸ばして行ってほしいと思います。そして辛いときこそ、己の力をつけるときと知り、一層の努力を傾けるべきであると私は思います。

今後社会人となり仕事をするにあたって、自分はこれだけ頑張ったのに、大して評価されなかったと失望することも時にあるでしょう。研究者の道に行けば、研究結果を得るために気が遠くなるほどの実験と解析を毎日毎日繰り返し、その成果を公表できるようになるまでには何年も掛かります。芸術家となれば、生きているうちに評価されれば、まだ良いほうです。

何ごとにも、人知れず地道な努力が必要です。たとえ承服しがたい境遇にあっても、自分を見失わなければ、個性は一層引き立ち、必ず近くで見てくれている人がいるものです。

今年、本校を巣立つ学生諸君。それぞれが選んだ道で大きく成長していかれることを期待し、すばらしい出会いに満ちた豊かな人生となるよう心から願っています。

# 卒業生へ贈る言葉

— 5 学年学科担任 —

## 機械システム工学科



5 学年学科担任  
眞喜志 治

機械システム工学科 5 年生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんの晴れ姿を妄想しながらこの原稿を書いています。

一部の学生を除き、ほぼ初対面の状態で皆さんの担任となってから 3 年が経ち、その間、いろいろな経験をさせてもらいました。担任となった当初は、それなりの自信と理念を持っていましたが、その根拠のない自信や独りよがりの理念が皆さんに通用することなく、あつという間に崩れ去ったときの衝撃を、今でも鮮明に憶えています。とても個性的で、魅力的な個々の集

まったクラスでしたが、せっかくの持ち味を發揮できる雰囲気になっていない様子を、とてももどかしく思っていました。手を拱いて見ているわけにはいかないので、「協調性と責任感を身につけ、クラスに愛情を持つこと」を目標に、あれこれ手を尽くしてきたつもりです。それなりの成果は得られたものと思っていますが、本当のところは「皆さんのみぞ知る」といったところでしょう。それから、「ちょっと口煩い、都合の良い大人」でいることが皆さんにとって良いことだと考えて、常にそのように振る舞ってきましたが、「果たしてそれで良かったのか？」と自問自答を繰り返す毎日です。それでも、皆さんの成長を目の当たりにし、それぞれが自分自身の考えで進路を決め、次のステップに進んで行けることにとても喜びを感じるとともに、皆さんを誇りに思っています。皆さんのこれからの活躍を確信していますが、新しい環境では、口先だけの「やればできる」から、少なくとも「やればできるので、必要に応じてやる」になってくれることを期待しています。

最後に、「贈る言葉」というより「思い出話」となってしまいましたが、皆さんの担任を務めることで、とても充実した 3 年間を過ごすことができたこと、とてもやりがいのある仕事をさせてもらえたことに心から感謝するとともに、今後のより一層の成長と活躍を願っています。『愛すべきヤロウ共!!』。

## 情報通信システム工学科



5 学年学科担任  
山田 親稔

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんとの出会いは、私が沖縄高専に赴任してきた時で、ちょうど皆さんが新入生として入学した 1 年生の時からです。皆さんが沖縄高専の学生生活に慣れるために、必死になっているのと同じ時期に、私自身も沖縄高専での教員としてスタートした時期でもありました。5 年という月日はあつという間で、初々しかった皆さんも、気づけばもう卒業を迎える時期になってしまいました。

これまでの皆さんと過ごした日々を振り返ってみます。まず、1・2 年生では混合学級で、学

科の学生がまとまる機会が少ないようでしたが、3 年生になると学科の枠を意識し始めた頃だと思います。3 年生の最初の時期は、皆さんのまとまりが悪く、どのようにすればまとまるのだろうと悩みましたが、部活や同好会、学生会では、部長・副部長などの主要な役割を担っていることがわかりました。そこで、クラスを運営していくにあたり、だれがどの役割に合っているかを考えながら、担当を割り振っていくと、それぞれの役割を的確にこなしてくれました。その頃からクラスが団結していく様子が見えてきました。

そして、4・5 年生では、インターンシップ、就職・進学試験があり、あつという間に過ぎていったのではないのでしょうか。これまでの学生生活の中で、いくつかの壁を乗り越えてきたと思いますが、それらは社会に出る前の訓練に過ぎません。これからが本番です。この先、高い壁や低い

壁が沢山待ち構えているかもしれませんが、それら乗り越えていった 10 年後、20 年後の皆さんの姿を見たいです。

最後に、皆さんと共に卒業する予定だった武弘之君が不慮の事故により他界されました。彼はずっと皆さんを見守っていることでしょう。そして彼の分まで、皆さんの人生を全うしてください。今後の皆さんの活躍を願っています。

## メディア情報工学科



5 学年学科担任  
正木 忠勝

専攻科 2 年と 5 年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。本科は 5 年間、専攻科は 7 年間本校のメディア情報工学科あるいは情報工学コースで情報工学を専門に学んできました。中学校を卒業したばかりの 15 歳だった君たちにとって高専を卒業するまでの時間はとてつもなく長く感じていたと思います。でも、卒業を目の前にしてこれまでの高専での学生生活を振り返って見ると、それはあつという間の事に感じませんか。

卒業後は君たちがそれぞれ自分で決めた進路に進みます。学校で学んだことを活かして社会に貢献しようとしている人やこれまでほとんど経験したことのない分野に勇気をだして飛び込んでいく人もいます。自分の興味のあることを深めるためにさらに学ぶことを選んだ人もいます。どの進路を選んだにせよ、これまで君たちが高専で学んできたことは必ず役に立つはず。プログラミングばかりに追われていたこと。卒業研究で苦しんだこと。高専祭でみんなで協力して頑張ったこと。これらの様々なことが一つ残らず将来の君たちの糧になります。自信をもって迷うこと無く新たな進路に踏み出してください。

そして、高専で君たちが得た一番の宝物は友人です。5 年間あるいは 7 年間一緒に過ごし、一緒に苦労し、一緒に乗り越えてきた友人は何事にも代えられないものです。困っている友人を自分の事のように助けてください。困ったときは友人を頼ってください。この絆を一生大切にしてください。

卒業後、社会人として遅くなった君たちに再会できることを楽しみにしています。

## 生物資源工学科



5 学年学科担任  
平良 淳誠

生物資源工学科の皆さん、ご卒業おめでとうございます。5 年生の皆さんとは、2 年生からの 4 年間のおつきあいになります。当初、担当科目もなく縁遠い感じでしたが、4 年生のインターンシップのお世話をしている頃から、皆さんのことを良く知ることができました。インターンシップ終了後には、全員が研修先から良い評価を頂き、とても嬉しく思いました。何よりも皆さんの成長が見えた時でもありました。もう一つの成長は、4 年生の終わりから進路を決め、就職活動や進学へと不安の気持ちと闘いながら、果敢に挑戦している時です。皆さんは、たくさん可能性という原石をもっています。その原石はいつまでもあるものではありません。今、この時に自分がどの原石を磨くかに悩み、自身の夢を実現させることに夢中になれる、人生の中で、もっともすばらしい時を過ごしているのではないのでしょうか。

最近、東日本震災のこともあり「絆(きずな)」への認識が高まっています。皆さんも本校で多くの友人や先生方、そして学校職員の方々と知り合いになり、時に悩みを相談したりして解決できたこともあったのではないのでしょうか。その絆は皆さんのこれからの人生の中でも、大切な宝物となるでしょう。先程の原石ではありませんが、思いやりの気持ちで育むことが大切になってきます。卒業後には各自違った人生が始まります。絶対調のときもありますが、悩み、話を聞いてもらいたい時もあるでしょう。その時には、本校でつくった友人や先生との絆を訪ねることで、救いになることもあります。人生を振り返り戻ることができる一つのシーンです。いつでも、訪ねてきて下さい。

最後に一つだけ、常々言ってきた「気配り」を忘れないで下さい。気を遣えてということではありません。まわりをしっかりと見ると、人の思いやりの気持ち、起きている事柄の意味、いろんなことが見えてきます。そして、冷静になることができます。人生、あせらずに、でもしっかりと歩んで下さい。そして、次の成長を見させて下さい。楽しみにしています。

I wish everything is going well in your life !

# 卒業にあたって

— 各学科5学年 —

## 機械システム工学科



5 学年  
後藤 匠

自身が降りるべき滑走路を中学1年から決めていた私にとって、急な目的地変更となった高専は、成長中の積乱雲に突っ込むようなものでした。専門用語はもちろんのこと、身近な工具に関するほとんどにおいて無知だった私を、工学に塗り替える1年生は、私を工学嫌いにさせましたが、この5年間で一番楽しかった学年でした。そんな調子が続くと思った水平飛行も束の間、視界が開けて調子に乗った4年生。わがままを両親に聞いて

もらい掴んだ一人暮らしは台風の目でした。両立すると約束するもバイトにのめり込み、学校も休みがちになりました。当然、成績は下がり、下から数えた方がすぐでした。未履修は2教科にも及び、原級措置もすぐそこでしたが、同期・先生方のご協力を経て仮進級した5年生。最後の一年だけは真面目にやろうと自身に誓わせてくれたのは皮肉にも東日本大震災でした。被災者の方々の、過去を忘れず今を生き、明日の希望を必死に掴もうとする姿に申し訳なさを感じたのです。色々苦戦を強いられた5年生であり5年間ですが、こうして今は長い長いフライトを終えようと「卒業」という滑走路に向けてようやく最終進入のコースに入ることができました。これも偏に友人や先生方を始めとする各関係者皆様のご理解ご協力あつてのことで、大変感謝しております。

しかしながら、この文章を書いている今この時も工学という分野はどうも好きにはなれません。多分、センスがないのでしょうか。それでも、マシンと呼ばれる類のものをみると中身の方が気になるのはこの分野に進んでしまったゆえの悲しい性です。

今思えばこの5年間、工学だの勉強だの成績だの、そんなものはどうでも良かったのです。だって学校ですからね。それよりもそれらを糧に、寮生活や実習などで協和音を無意識的に奏でられるまでに人間的に成長できたことに喜びを感じております。

さて、そろそろ滑走路のライトが見えてくる頃ですね。それでは皆様これから先も快適な人生の旅となりますよう心よりお祈り申し上げます。5年間のご搭乗、誠にありがとうございました。

— GOOD DAY —



5 学年  
仲村 亮太

5年前の入学式から今まで、たくさんの方がおられました。親元を離れての寮生活、最初は全然慣れない環境で心が折れそうになったことを今でも覚えています。しかし、今となっては寮生活においての様々な出来事がい思い出です。学校生活では慣れないレポートがあり、PBLの発表資料を作るために辛い日々を過ごし、テストの教科数が多くて、機械科に入ったことが嫌になった時期もありました。しかし、私達のことを一番に考え、

常に私達の味方であった眞喜志治先生、個性的でギャグも言う機械科の先生方のお陰で今まで過ごしてきた気がします。また、機械科の就職・進学率は100%であり、機械科に入ってよかったと思える理由の1つです。

1、2年生の頃のクラス内の雰囲気は最悪で、問題児が多く、世の中で一番まとまりが無い最低なクラスだと思っていました。しかし、5年生になり、体育祭では全員がまとまることができ、高専祭ではクラス杯優勝だけを目指し、みんなが協力することで見事優勝

することが出来ました。また、他学科にはない機械科だけの雰囲気があり、なんだかんだ言って仲が良いこのクラスで本当に良かったと思っています。

私は来年、内地の企業に就職し、社会人となります。この5年間、はかり知れない程の迷惑をかけた担任の眞喜志治先生、副担の武村先生、卒研担当の眞喜志隆先生、今まで支えてくれた家族、友人に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。沖縄工業高等専門学校機械システム工学科を卒業することを誇りに思い、ここで得た知識、技術を存分に発揮したいと思います。最後に、卒業後、今まで全員揃うことがほとんどなかったこのクラスが、全員集合して語り合える日が来ることを楽しみにしています。

## 情報通信システム工学科



5 学年  
比嘉 大優

沖縄高専に入学したとき、本当にここでやっていけるかなと、とても不安な気持ちで毎日過ごしていたことが今では懐かしく感じます。私が高専に入学したきっかけは親が高専を強く推して、普通高校に進学したかった私は、「推薦入試に落ちれば親も諦めるだろう」と軽い気持ちで推薦入試を受け、合格してしまい入学を取り消せなくなったためでした。「青春の高校生活を送るはずだったのに」と、とても後悔していた私は、友達

も作らず毎日過ごしていました。しかし、次第に友達も増えていき5年生となった今では、多くのことを語りあったり、笑い合ったりできる最高の仲間となりました。

高専生活の5年間を振り返ると、サッカーばかりの日々だった気がします。自分の好きなことに打ち込めたのもたくさんの方々に支えられたからだだと思います。毎週のように高専と自宅を送り向かえしてくれ、学校を辞めてしまいそうだったとき励ましてくれた両親、幼稚だった私達を厳しくも温かく見守ってくれた先生方、そして、課題やレポート、テストに追われ忙しかった日々を、時には競い合い、時には励まし合いながら共に過ごした4期情報の仲間達、いろいろな人に支えられて今の私があります。

入学したときは、学校を辞めたくなるほど後悔したけど、今なら胸を張って沖縄高専に入学して良かったと心から思います。皆、就職や進学で別々の道に進むけれど、いつか立派な社会人になってから再会する日を楽しみにしています。本当に5年間ありがとう。



5 学年  
ホサインモハンマドマルフ

私は高校卒業後留学して東京に来ました。東京で日本語を学び、沖縄高専に3年次に編入しました。東京は国際的な街なので、文化の違いはそこまで感じなかったのですが、沖縄高専に来てから初めて文化と宗教の違いを実感しました。高専生活の過去3年間うれしいことも、辛いこともありました。一番思い出すのは病気になって病院にいたときのことです。嬉しいことのうち一番思い出すのは

病気から治って普通の生活に戻ってきたときにみんなが熱く迎えてくれたことです。辛いときがあったからこそ嬉しいときに自発的に笑うようになりました。

顔面麻痺で落ち込んだときに毎回病院に連れていってくださった山田先生からの褒め言葉は忘れられません。保健室に行くたびにあってて事情を聞いてくれる武村さん、ご飯食べたくないからお粥を作ってくださいといったらちょっと待ってと言ってくれるレストランの新里さん、コンテストの問題が解けなくて死にたいと言ったら見てくれる一期生の孫周先輩、どれだけ怒っていても笑顔で返してくれる知念、学校にくる途中で交通事故で亡くなったというメールが流れてきた武、一つ一つのエピソードが今でも頭に新鮮なまま浮かびます。書いている途中でいつの間にか涙が流れてきました。今まで面倒を見てくれた教職員のみなさん、友達、先輩達、

みんなに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

沖縄高専にいる間色々経験しましたが、そのうち2つはとも大事です。1つは、家族が大事だと実感したことです。もう1つは、諦めないことです。目標がどれだけ高くても、自分の能力が全然足りなさそうでも、自ら限界を付けず勇気を持ってやって見なければなりません。人間は限界を超えることができるというぐらいの自信を持って行動すれば、きっと解決の扉が開かれます。必死に頑張っても何やっても結局できないというステージがありますが、それは成功の直前のステップです。これからの人生でも沖縄高専で得た貴重な経験を生かしていきたいと思っています。

## メディア情報工学科



5 学年  
瀧澤 勇生

入学前はとてつもなく長く感じた道のりも、もうすぐ終わろうとしています。この5年間、様々なことがありました。嬉しい出会い、悲しい別れ、楽しい日々、苦しい課題—それらを乗り越えるたびに少しずつ成長してきました。

「国立」「就職率 100%」そんな響きに惹かれて入学した高専ですが、慣れない 100 分授業や今まで会ったことのないような質の高い人達に、戸惑い、悩み、ときには学校を辞めようと思ったこともありました。それでも、私がここまでこられたのは、共に頑張れる仲間がいたからです。共に笑い合える仲間がいたからです。一人では、絶対に諦めていたかもしれません。この仲間と出会って本当に良かったです。

そして今、そんな仲間と共に過ごした学生生活が終わりを迎えるようとしています。これまでいろいろ出来事がありましたが、そんな経験を積み重ねて、「大人」を知り、大人の階段を登ってきました。ゆっくり歩んできた人、全力で走ってきた人、それぞれペースは違いますが、ひとまず大きな区切りを迎えます。

その区切りを迎える前に、これまで散々迷惑をかけた家族に謝っておきます。本当にごめんなさい。そして今まで支えてくれてありがとうございました。家族だけでなく、先生方や先輩、後輩、そして同級生の仲間たちには感謝してもしきれません。

これからは、さらに気の遠くなるような険しい道が続きますが、全力で、たまには休みながら、前を向いて進んでいきたいです！



5 学年  
末次 みなみ

長いようで短かった5年間。とても濃く、貴重な時間を沖縄高専で過ごすことができ、本当に良かったと思います。慣れない土地、慣れない環境に身を置き、時には地元の友人がうらやましくなった時もありますが、ここでしかできないこと、ここでしか会えない人に出会い、普通じゃできない経験をたくさんすることができました。私にとって、この5年間は変化ばかりで、多くのことを経験しました。1・2年次には運動部に所属し、3年次には文化部、4年次には進路に悩み、そして5年次には学外の学生プロジェクトに参加しました。環境を変えることに不安はありましたが、「やりたい」と思ったらできるだけチャレンジするようにしてきました。たくさん失敗したり、恥をかいしたり、諦めたくなることも多かったですが、失敗して何かを学ぶ方が、失敗を恐れて何もしないより、価値があるということを学びました。このように自分勝手に環境を変えるたびに、多くの人に迷惑をかけましたが、それでも背中を押してくれる友人や先輩、後輩、先生方、そして家族がいたからこそ、いま、こうやって楽しく5年間を振り返ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

私は4月から福岡の大学へ編入し、5年間共に過ごしてきた仲間とも離れ離れになってしまいます。それぞれいろんな困難が待ち受けていると思いますが、それを乗り越えて、いつか語り合えたらと思います。この5年間で得た学びや気づきを糧に、お互い頑張っていきましょう。

## 生物資源工学科



5 学年  
当真 弘貴

沖縄高専の入学から、あっという間に5年の月日が過ぎようとしています。振り返れば他に経験することができない、充実した日々を、過ごすことができたのではないかと思います。

入学当初は、なんといっても授業の進むスピードとレベルの高さに驚きました。初めての定期テストで、席次が後ろから数えたほうが早かったときには、心から落ち込みました。そして、選ぶ進路を間違えたのではない

み、県立高校に入り直すことも考えるようになりました。しかし、そんな私を勇気づけてくれる友人がいました。3年間の寮生活では友人と一緒に勉強したり、夜遅くまでおしゃべりをしたり、夜中にオリンピックの中継を見たりと、充実した日々を過ごすことができました。所属していた野球部では、チームメイトや顧問の先生方との触れ合い、野球の技術だけでなく、人としてたくさんの経験をつむことができました。多くの人との触れ合いの中で、“高専もいい所だ”、この環境でもっと学びたいと考えられるようになり、学び続ける勇気をもらいました。

あっという間に訪れた最終学年で大変だったのは、就職活動と卒業研究でした。特に就職活動では、とても悩み、不安になり、落ち込むときもありました。しかし、そんな時でも勇気づけてくれたのは友人たちでした。もし私にこの支えが無ければ、ここまで成長できなかったのではないかと思います。“本当にありがとう！”

また、担任の平良先生、山城先生、卒業研究担当の田邊先生の指導もあり、化学系大手企業の旭化成への採用も勝ち取ることもできたのではないかと思います。

沖縄高専入学から色々な人と関わり、様々なことを経験させて頂き、本当に充実した日々を過ごすことができました。これからも、ここでの経験を生かして、更に成長していきます。



5 学年  
儀武 菜美子

私は、沖縄高専で2度自分を見つめ直す機会がありました。1度目は4年生でのインターンシップの体験でした。私は先生に紹介された環境分析センターで、現場での環境調査やソーティング作業を行いました。そこで、緑色のカタツムリや赤い星砂、強烈な匂いのヘクソカズラ、帰化植物のギンネムなど、いろいろな動植物に出会いました。インターンシップをきっかけに、多様な生物とどのように関わっていくべきなのかを考えるようにな

りました。しかし、考えても考えても、現実的な答えを導き出せず困っていました。そこで、すぐに答えが出ないという現実があるのだと、思い知らされました。卒業研究は自分を見つめ直す2度目の機会でした。実験計画やストーリーを頭に描き考えながら行動する大切さや、コミュニケーションの大切さなど、多くのことを学びました。人に伝わらなければ意味がないということを知り、伝え方次第で内容が大きく異なることも知りました。生物との関わり方に悩む前に、もっと人との関わり方を勉強しなくてはいけないのだと強く感じるようになりました。

これらの機会により、私は生物や人との関わり方を考える必要性を強く感じました。そこで、考えるための基本となる知識や経験を積むために、大学へ進学して学ぶことを選択しました。今は、卒業後の大学で学ぶ生活がとても楽しみです。

最後に、沖縄高専で過ごした5年間、出会った人々から学んだことは、私にとって大切なものばかりです。卒業後も大事に育んでいきたいと思っています。私が成長するきっかけとなった沖縄高専や、そこで出会った先生方や友人たちに感謝の気持ちでいっぱいです。どうもありがとうございました。

# 学年の 学生の様子

— 各学年主任 —

## 1 学年主任



1 学年主任  
成田 誠

1年生の学生生活も最終段階、本年度は感染症の流行などによる混乱もなく無事授業・行事が行われたことは何よりです。後期に入ってから学生達の雰囲気は一層よくなり、勉学や課外活動に切磋琢磨し打ち込んでいる様子を伺うことができます。また、初めての

高専祭では一致団結し、1つのことをクラス皆でやり遂げた経験は学生達の自信に繋がると思っています。一方で、学校生活に馴染んだが故の気の緩みも見られたことは残念です。

2年生は混合学級最後の年です。同一分野でクラスを構成することは、効果的な専門教育のためには避けて通ることはできないことですが、他(多)分野の人と交流を持つことの有意義性は棄て難いものです。故に、今年度以上に来年度の学生生活を大切にかつ楽しく過ごしてもらいたい。そして、上級生としてリーダーシップを発揮し、それが今後の彼ら自身、更には沖縄高専の発展に寄与することを大いに期待します。

## 2 学年対象講演会

### 「今、求められる社会人とは」

平成 23 年 12 月 7 日 (水) 実施



## 2 学年主任



2 学年主任  
澤井 万七美

「光陰矢のごとし」の言葉通りの1年間でした。

先輩としての自覚も持ちながら、学生会・寮生会・部活動などにおいて大いに力を発揮してくれたことに、感慨もひとしおです。勉学においても一段と高いレベルが要求されるようになったことに、それぞれよく応えてくれました。特に、仲間たちと遅くまでPBL(グループワーク)作業に励む姿がそこそこに見られました。2年間の混合学級において育んだ学科の枠を超えた友情、そして幅広い視野は、きっと生涯にわたっての大切な財産になることでしょう。

3年生からはよいよ専門課程となり、すべて学科単位で行動してゆくこととなります。入学当時の初志を思い出し、新たなスタートの春にして欲しいと思います。2年生の後期には、LHRにおいて2回、学年全体への進路指導講話を開催しました。12月7日には、株式会社マイナビ様より香田祐介様を講師に迎え、「今、求められる社会人とは」と題した講話を頂きました。生涯賃金等の数値を挙げながら展開されるお話に、学生たちは食い入るように聴き入っていました。冬休みを挟んだ1月11日には、本校キャリア支援室長(伊東昌章)による「キャリアをデザインする」と題した講話を設定し、本校の先輩たちの実績やその裏にある厳しい道のりについて、現場からの説明がなされました。「待っているだけでは夢は叶わない。自ら動きださなければ」との意を新たにした学生の気持ち、レポートによく表れていました。またそれぞれの講話に対して、学生たちからいくつか熱心な質問が寄せられました。詳細は本校ホームページの「キャリア支援室」のページに掲載しております。よろしければどうぞご参照ください。

自ら考え、行動する大人へのステップを、いま彼らはひとつずつ登っているところです。保護者ならびに地域の皆さまにおかれましては、学生たちの未来のために、今後とも御理解ならびに御支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 3 学年主任



3 学年主任  
玉城 康智

高専生活の3年目は、学校の雰囲気、定期試験、学校行事、学生寮生活など一通り高専の環境にも慣れ、自分の個性を發揮しやすい時期です。しかし、全てが昨年通りではなく、混合学級から学科別クラスとなり、また一部の学生は学生寮を出て自宅または近くのアパートで独り暮らしを始めています。このような変化の中で、個々の学生の「自覚」が試される学年だと思えます。周囲の意見に流されることなく自分の価値観を持ち、自ら道を切り開く強い心が必要です。

3年生で行われるイベントは就職活動を意識したものが多く、特に昨年11月30日に行われた研修旅行は、企業訪問を目的とし県外就職を希望する学生にとって貴重な体験となりました。また、今年度は震災の影響を考慮し機械システム工学科、メディア情報工学科、生物資源工学科が関西エリアの企業訪問を実施したのに対し、情報通信システム工学科は香港の企業を訪問するなど新たな取り組みがなされ、学生から高評価を得ることができました。

早いもので3年目が修了しますが、来年度の大きなイベント「インターンシップ」に向け個々の学生が情報を共有しモチベーションを高め、就職決定の一助となることを期待します。



## 4 学年主任

4 学年主任  
金城 伊智子

来年、いよいよ本科生として最後の学年を迎える4年生にとって真剣に「進路」と向き合う時期となりました。学生の様子からも、これまでは漠然と捉えていた「進路」が現実味を帯びてきていることが伺えます。

そんな4年生が進路を意識し始めたのは、インターンシップの実習を終えてからではないでしょうか。昨年の8月から9月にかけて、各種企業・官公庁等での実習を通して、修得した専門知識や技術に裏打ちを与えたり、実社会に必要な素養・能力・価値観の必要性を体験・自覚させ、実社会の生きた知識を身につけさせることを目的として行われるインターンシップに4年生全員が参加しました。インターンシップ先では、普段の学生生活とは異なり、進路を考える上で様々な刺激を受けたようです。実習後のインターンシップ報告会では、それぞれの実習先で体験したこと、そしてその経験を通して学んだことについて発表を行いました。その発表内容からは、多少個人差はあるものの、意識が変わり、学生の少し成長した様子を伺うことができました。

最近の4年生は、講演会や大学説明会に企業説明会と、通常の学業に加えて進路について考える機会となるイベントが数多くあり、多忙な日々を過ごしています。講演会は、様々な立場の方にキャリア形成についての講演をしていただき、4年生に良い刺激を受けてほしいと4年担任団で企画し、開催しているものですが、中には自分の進路と関係ないと、講演会や説明会への参加に消極的な学生もいます。しかし、ささいなきっかけがそれからの人生に影響を与えることも少なからずあります。ただ待っているだけでは何も起きません。自ら行動を起こし、そのきっかけをつかんでくれることを願っています。まずその第一歩として、今後も開催される講演会やイベントに積極的に参加して様々な人達から話を聴くことから始めてほしいと思います。また、保護者の方を含め、周囲の方達とも話をし、いろいろな刺激を受けてほしいと考えております。

4年生は今後も進路決定まで多忙な時期が続きます。4年担任団は、これからも学生が悔いの残らない進路決定に向けた活動に取り組んでいけるようよう支えてまいりたいと思いますので、皆様におかれましてはより一層のご支援を賜りますよう、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



# インターンシップ 体験記

— 4 学年 —

## 機械システム工学科



4 学年  
與那國 優希

「宇宙航空研究開発機構」通称「JAXA」とは日本の航空宇宙開発、研究を行う機関の名称です。その筑波宇宙センターに私は4年生の夏、インターンシップとして就業体験をしました。

4年生になったばかりの頃、「やりたい事」が特になく悩んでいました。「インターンシップどこの企業に行こうかなー。いろいろ経験できる所がいいなー。」と思いながらインターンシップ受入企業リストを眺めていました。

そんな私の前に「宇宙航空研究開発」という素敵な文字が入って来ました。「宇宙」。見ているだけでとてもワクワクしてくる言葉、聞いているだけで少年のような純粋な気持ちになる言葉。この素敵な言葉に私は一気に引きこまれました。JAXAは面接などがなく履歴書のみ書類選考のため私は「履歴書に普通のことを書いては選べない」と思い、特別な体験として「流しそうめんを竹から取ってるところから始めた」とことについて書きました。そのことが功を奏し担当者の方に「流しそうめんのことが目に留まって今回インターンシップを引き受けたんだよ。この研究室が沖縄からインターンシップを取ったのは初めてじゃないかな。」と言われました。こうして私はJAXAへ行くことができました。

私が就業体験を行った研究テーマは「微小重力環境を利用した液滴燃焼メカニズムに関する地上試験」というものでした。その試験で使用する実験機の制作を行いました。実験機の作成が予定より早く出来たため、重力環境での液滴燃焼実験も行いました。今度はISSの「きぼう」実験棟での実験実施が計画されている Group Combustion の実験機を作成しました。Group Combustion とは簡単に言うとコスモトールで行われる実験の拡大バージョンです。コスモトールではわずかな時間しか微小重力環境が得られないがISS「きぼう」実験棟では長時間の微小重力環境が得られます。そこで液滴燃料を最大 100 滴以上設置して液滴群が「どのように燃焼発現するのか。どのように燃え広がるのか」などを理解するという実験です。その実験機の作成ですがフレームは日本大学からインターンシップで来ての方がつくってくれていた所以我はそのフレームに液滴を支持するための SiC ファイバという繊維を設置しました。

インターンシップは2週間という短い期間でしたがそこで得た経験は私の中でとても大きなものでした。インターンシップを体験したことで得ることができた3つのことがあります。1つ目は「友」、2つ目は「夢」、3つ目は宇宙に対する「愛」です。後輩の皆さんもインターンシップで素敵な経験ができるよう頑張ってください。



4 学年  
比嘉 沙紀

私は愛知県にあるムラテック CCS 株式会社で1週間のインターンシップを体験しました。ムラテック CCS 株式会社は工作機械や無人搬送車といった物流機器の改造、メンテナンスを主な業務として行っている会社です。私は将来、機械整備関係の会社への就職を志望しており、以前より興味があったムラテック CCS 株式会社でのインターンシップに参加させて頂きました。

インターンシップでは企業説明や安全講習、社会人としてのマナーといった講義の後に実習がありました。特に安全講習ではどれだけ企業が安全を重視しているかを学びました。ムラ

テック CCS 株式会社では「人が財産である。」という考えに基づいて危険ゼロを目指し、4S（整理、整頓、清掃、清潔）を徹底し、危険予知に力を入れて安全管理を行っていました。加工実習では手仕上げ加工による鉛筆作成、無人搬送車の走行レーン制作、スタッカクレーンが故障したと想定しての調整実習、パンチプレス・レーザ加工でのペン立ての制作、シーケンサ制御によるコンベア調整実習など幅広い分野で、学校ではほとんど行えない実習を体験することができました。特にパンチプレス、無人搬送車やスタッカクレーンは普段では見ることのできないような機械で、それらを使っての実習は新しい知識や技術を学べる良い機会でした。とても充実した1週間でしたが、同時に自分の技術・知識不足を痛感した1週間でもありました。今回のインターンシップでは企業から様々なことを学んだだけでなく、全国の高専から来た研修生とのつながりを持つことができました。そして将来に対する意識が明確になり、自分の進みたい道が見えてきました。この貴重な体験は今後も大いに役立てていきたいと思います。

## 情報通信システム工学科



4 学年  
富永 歩

私は8月22日から9月2日までの2週間、大分県大分市明野にある「新日本製鐵株式会社・大分製鉄所」へのインターンシップに参加させていただきました。新日本製鐵は、日本の国力を象徴するといわれるほどの大きな製鉄会社です。

私は、設備部薄板センターという部署へ配属になり、製品となる薄い鉄板の精度向上を目的とした、機器制御についての検討を行いました。情報通信システム工学科で学んだ制

御工学を扱い、実際の業務内容と同じようにシミュレーションや報告会を体験することができました。報告会では、学校のプレゼントは違い、ピリピリとした職場の雰囲気を感じ、社員の方やグループリーダーからの質問なども受け、プレゼン資料へのアドバイスなどをもらうなど、非常に有意義なインターン内容となりました。

また、新日本製鐵には高専卒の方が非常に多いという特徴があります。人事部の方に食事会や懇談会などを企画していただいたことで、高専卒の待遇や、周りの修士卒との違いなどを詳細に聞くことができ、自分の将来についても深く考えるいい機会となりました。

すべての日程を終了した後は、自分の実力のなさに気づき、しばらくの間へこみ続けました。しかし、実習期間中に受けたアドバイスを参考にすることで、自身のプレゼン能力や、レポート作成能力が上昇した気がして、それが今では自分の中の自信の一つとなっています。

今後インターンシップへ参加する人には、企業を選考する際に「ぜひ就職したい企業」を探すことをお勧めします。私のように苦い気持ちを味わうこともありますが、自分の現在地、目標となる壁の高さなど、今後の自分の行動を深く考えるチャンスです。ぜひ有意義なインターンシップへして欲しいと思います。



4 学年  
長嶺 真実

私は、那覇市にあるリコーテクノシステムズという会社で、1週間のインターンシップに参加しました。リコーテクノシステムズは、主にコピー機の点検・修理やITサービスの提供などを行っている会社です。

インターンシップでは、身だしなみや名刺交換の作法などの基本的なビジネスマナーを教えて頂いたり、CFC（カスタマフィールドコーディネータ）に同行して、取引先でネットワークやメールの設定などを行っているところを見学しました。

CFC やカスタマーエンジニアは、実際に取引先に訪問して作業を行うので、時間や場所などの制約が厳しく大変そうでしたが、皆「やりがいがある」と、積極的に仕事に取り組んでいらっしゃいました。自分の仕事に責任と誇りを持って働く姿がとても輝いて見えました。

今回のインターンシップでは、リコーテクノシステムズや仕事内容や職場の雰囲気はもちろん、「人を大切にする心」を知ることが

できました。人の役に立つことを自分の喜びと感じること、それは技術者にとってとても大切なことだと思います。また、働くうえで、やはりコミュニケーション能力は必要であるということを変更して実感しました。相手が何を考え、何を求めているのかをしっかりと把握し、迅速な対応をすることが仕事の効率を向上させることにもつながると思います。

インターンシップは、現場で働く技術者の方を実際に見ることができ、貴重な機会だと思います。技術者がどのようなことに気を使い、どんな思いで働いているのかなど、働く姿から伝わってくることもたくさんあります。また、仕事をする上で必要なことや心構え、自分に足りない能力なども見極めることができます。今回学んだことを踏まえ、就職活動に取り組みたいと思います。

## メディア情報工学科



4 学年  
世嘉良 紳

私は、沖縄県にある「株式会社レキサス」に3週間、インターンシップでお世話になりました。

レキサスの主な事業内容はオリジナルインターネットアプリケーションやiOS/Android向けアプリケーションの企画・開発です。

また、「沖縄県に拠点を置きながら、自社商品で県外/海外の企業と対等にビジネスを行う」ということを企業理念としていて、そのために「IT frogs」や「Lexues Academy」とい

った様々な人材育成プロジェクトに取り組んでいる企業でもあります。

そんなレキサスのインターンシップは少し変わっていて、大学生から高校生まで多くの人たちを自社へ招待し、グループワークを行いながら、レキサスが実際にリリースするスマートフォンアプリへ自分たちで考えたオリジナルのサービス・コンテンツを組み込むというものでした。

アイデア出しから始まり、企画、開発、プレゼンと実際の企業で行うプロセスを一から体験できたことはとても有意義だったと思います。

また、単に開発だけを行うわけではなく、社内勉強会への参加や、効果的なプレゼンテーションについてレクチャーして頂くなど、普通の学校生活では経験できない様々なことを学ぶことができました。インターンシップは曖昧だった企業のイメージがより具体的にあり、自分自身の価値観が変わる良い機会だと思います。

この貴重な機会を活かし、後輩の皆さんには積極性の大切さや、仕事をこなす達成感、ビジネスの視点から見える世界などを感じ取って欲しいと思います。



4 学年  
前野 粒子

私は「ニフティ株式会社」という会社に2週間お世話になりました。この会社は、プロバイダサービスやウェブサービス運営などを行っている都内のIT系企業です。

会社では、現在パソコン向けで運営しているウェブサイトをスマートフォンでも見られるようにサイトを再構築する作業を行いました。ウェブサイトの性質を理解し、スマートフォンでも見やすくなるようにデザイン設計と実装を行いました。今回はサイト内の数ページ分のみを担当したため、企画の段階から完成したウェブページのテストまで、一連の流れを身につけることができました。これによって、サイトの1ページを作成するのにも、本当に様々な過程を経て業務が行われていくことを知りました。

他にも、会議に参加させて頂いたり、新規導入予定サービスの打ち合わせに参加させて頂いたりとても貴重な体験ができました。会社で行われる業務の様々な面を見ることで、自分が働く姿がイメージしやすくなりました。

最終日の成果報告会では、2週間で得たことや作成したウェブページについての発表を行いました。自分が得られたこと、学べたことを改めて整理する意味でとてもいい機会でしたが、大勢の方に発表を聞いて頂き様々なアドバイスなどを頂いたのも勉強になりました。

また、都内ということもあり、インターン前は二週間以上も一人暮らしをするということにとっても不安がありましたが、いざ行ってみると会社の方も寮の管理人さんもとても温かい方たちばかりで安心して二週間を楽しむことが出来ました。

今後の就職活動において、インターンシップで感じたことや学んだことをもとに自分の適正に合った相性のいい仕事を見つけていきたいと思っています。

## 生物資源工学科



4 学年  
野口 佳

私は熊本県の化学メーカーである「JNC株式会社 水俣製造所」で2週間お世話になりました。この会社は主に液晶やシリコン、肥料などを製造しております。

研修は、工場内にある生産技術部、動力部、保全部の3部署を通じて研修を受けました。

インターンシップの前半は生産技術部、動力部で製造工程の説明を受け、実際に製造する工程を学び、工場外にて会社所有の水力発電施設の見学を行いました。工場内では安全靴、安全ヘルメットを着用が義務付けられており、安全面を非常に重視していました。後半は、保全部にて機械のメンテナンスや工場で使用するタンクの設計など工場での裏方の仕事を、学びました。化学工場では危険物を多く使用しているため、タンクの強度・肉厚の測定などメンテナンスの仕事は事故を未然に防ぐ点において非常に重要な業務で、ここでも安全面に重点を置いており、製造所では安全が最重要であるということを確認しました。

県外での研修で不安も多くありましたが、職場の雰囲気は明るく、社員の皆様は優しい方ばかりでした。また他高専出身の社員の方も非常に多く、すぐに緊張もほぐれました。

研修では社会人の方々から普段聞けないようなお話を聞くことができ、また、工場内の職場の雰囲気を肌で感じる事が出来、今まで漠然としていた「化学会社のものづくり」を経験できたのは非常に貴重な経験となりました。この経験を無駄にせず今後の就職活動に活かしていきます。



4 学年  
宮嶋 空

私は兼ねてから飲料関係の企業に勤めたいと考えており、「サントリープロダクツ株式会社」と「沖縄明治乳業株式会社」でそれぞれ1週間インターンシップを行いました。

一目的のサントリープロダクツ株式会社のインターンシップは実際に業務を体験するというものではなく、全国の高専生と一緒に研修を受けるという内容でした。講義やグループディスカッション、グループワーク、先輩社員との座談会などとても充実した内容でした。また、研修所だけでなくサントリープロダクツ高砂工場の工場見学も行いました。今回は普段の工場見学では入ることのできない工場内部まで見学でき、今まで知らなかった工場内の業務を知ることができました。

二目的の沖縄明治乳業株式会社でのインターンシップは毎日違う部署に配属され、実際に業務を行うという内容でした。ほとんどの部署を回り、会社が多くの方によって動いていると実感することが出来ました。インターンシップ中には、会議や県外企業の方との打ち合わせ、新商品の試作品づくり等の学生のうちでは体験できない貴重な体験をしました。

私は県外と県内の二つの企業でインターンシップを行い、最初は大変そうだと不安もありました。しかしインターンシップを終えた今は、二つの企業に行けてよかったと思っています。二つの企業は同じ飲料関係の企業ですが県外と県内、清涼飲料と乳飲料のように異なる点が多くあります。このような違いを知れたということは、就職先を決めるにあたって大変参考なるものです。今後の就職活動ではインターンシップでの経験を活かしていきたいです。

# 進路・就職情報

— 学生課学生係 —

沖縄高専では、平成24年3月に第4期生145名が卒業する予定で、うち62名が進学、83名が就職を希望しています。各学科ごとの進路決定状況は下記のとおりです。

## 【2012年3月卒業予定者(本科4期生)の進路状況】

### ◆就職・進学内定状況◆

平成24年2月現在

|                                      | 機械                                                                                                                                                                                                              | 情報                                                                                                                                                                                                                                                                         | メディア                                                                                                                                                                                                                                                                   | 生物                                                                                                     | 合計                     |
|--------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 卒業予定者                                | 31                                                                                                                                                                                                              | 36                                                                                                                                                                                                                                                                         | 38                                                                                                                                                                                                                                                                     | 40                                                                                                     | 145                    |
| 進学希望者                                | 14                                                                                                                                                                                                              | 13                                                                                                                                                                                                                                                                         | 15                                                                                                                                                                                                                                                                     | 20                                                                                                     | 62                     |
| 合格者数                                 | 14                                                                                                                                                                                                              | 13                                                                                                                                                                                                                                                                         | 14                                                                                                                                                                                                                                                                     | 19                                                                                                     | 60                     |
| うち3年次編入等進学                           | 11                                                                                                                                                                                                              | 5                                                                                                                                                                                                                                                                          | 11                                                                                                                                                                                                                                                                     | 7                                                                                                      | 34                     |
| 専攻科                                  | 3                                                                                                                                                                                                               | 8                                                                                                                                                                                                                                                                          | 1                                                                                                                                                                                                                                                                      | 11                                                                                                     | 23                     |
| (専攻科合格者)                             | (11)                                                                                                                                                                                                            | (12)                                                                                                                                                                                                                                                                       | (3)                                                                                                                                                                                                                                                                    | (11)                                                                                                   | (37)                   |
| 沖縄高専研究生                              | 0                                                                                                                                                                                                               | 0                                                                                                                                                                                                                                                                          | 0                                                                                                                                                                                                                                                                      | 0                                                                                                      | 0                      |
| その他                                  | 0                                                                                                                                                                                                               | 0                                                                                                                                                                                                                                                                          | 2                                                                                                                                                                                                                                                                      | 1                                                                                                      | 3                      |
| 進学決定率<br>(合格者数/進学希望者数)               | 100.0%                                                                                                                                                                                                          | 100.0%                                                                                                                                                                                                                                                                     | 93.3%                                                                                                                                                                                                                                                                  | 95.0%                                                                                                  | 96.8%                  |
| 進学先※1                                | 九州大学<br>九州工業大学(3)<br>豊橋技術科学大学<br>群馬大学<br>神戸大学<br>琉球大学(3)<br>立命館大学                                                                                                                                               | 千葉大学<br>豊橋技術科学大学(3)<br>東京工業大学                                                                                                                                                                                                                                              | 九州工業大学(4)<br>長岡技術科学大学(2)<br>豊橋技術科学大学<br>琉球大学(4)<br>武蔵野美術大学<br>パンタンゲームアカデミー                                                                                                                                                                                             | 長岡技術科学大学(2)<br>岐阜大学<br>筑波大学<br>岡山大学<br>富山大学<br>東京工業大学<br>北部看護学校                                        |                        |
| 就職希望者数                               | 17                                                                                                                                                                                                              | 23                                                                                                                                                                                                                                                                         | 23                                                                                                                                                                                                                                                                     | 20                                                                                                     | 83                     |
| 内定学生数                                | 17                                                                                                                                                                                                              | 23                                                                                                                                                                                                                                                                         | 21                                                                                                                                                                                                                                                                     | 18                                                                                                     | 79                     |
| 内定率<br>(内定学生数/就職希望者数)                | 100.0%                                                                                                                                                                                                          | 100.0%                                                                                                                                                                                                                                                                     | 91.3%                                                                                                                                                                                                                                                                  | 90.0%                                                                                                  | 95.2%                  |
| 内定先企業名(県内)<br>県内に本社のある企業<br>※1       | 沖縄電力株式会社<br>オリオンビール株式会社                                                                                                                                                                                         | 沖縄電力業株式会社<br>業株式会社開邦工業<br>業株式会社リウコム                                                                                                                                                                                                                                        | クオリサイトテクノロジーズ株式会社<br>沖縄日立ネットワークシステムズ株式会社<br>株式会社 OSE<br>株式会社創和ビジネス・マシズ                                                                                                                                                                                                 | 株式会社開邦工業<br>株式会社バイオジェット<br>翔南製糖株式会社<br>株式会社<br>沖縄環境保全研究所(3)                                            |                        |
|                                      | 計2名<br>就職者に占める割合12%                                                                                                                                                                                             | 計3名<br>就職者に占める割合13%                                                                                                                                                                                                                                                        | 計4名<br>就職者に占める割合19%                                                                                                                                                                                                                                                    | 計6名<br>就職者に占める割合33%                                                                                    | 県内計15名<br>就職者に占める割合19% |
| 内定先企業名(県外)<br>◎は沖縄県内に支社または事業所がある企業※1 | 株式会社中央エンジニアリング<br>出光興産株式会社(2)<br>旭化成株式会社<br>サントリープロダクツ株式会社<br>ANAフライトラインテクノクス株式会社<br>中部電力株式会社<br>富士重工業株式会社<br>大阪ガス業株式会社<br>日陽エンジニアリング業株式会社<br>TOTO/パスクリエイト株式会社<br>日本発条株式会社<br>新潟原動機業株式会社<br>KYB株式会社<br>株式会社テラダイ | 中部電力業株式会社<br>株式会社富士通関西システムズ<br>ムラテックCCS業株式会社<br>出光興産業株式会社<br>NTTネオメイト九州(2)<br>株式会社NTTファシリイズ<br>京セラ株式会社<br>リコーテクノシステムズ株式会社<br>富士電機株式会社<br>ダイキン工業株式会社<br>矢崎総業株式会社<br>富士通株式会社<br>三菱重工業長崎研究所<br>東芝社会インフラシステム社<br>アイシン精機株式会社<br>NOK株式会社<br>西京テクノシステム株式会社<br>KYB株式会社<br>南西糖業株式会社 | 株式会社アプリックス<br>国立印刷局<br>株式会社<br>日立アドバンスデジタル<br>株式会社トヨタ<br>コミュニケーションシステム(2)<br>京セラコミュニケーションシステム株式会社<br>株式会社サプライ<br>株式会社富士通ミッションクリティカルシステムズ<br>日立SC株式会社<br>大阪ガス株式会社<br>神戸テクノス株式会社<br>ウェブテクノロジー株式会社<br>日本アルゴリズム株式会社<br>ニフティ株式会社<br>アヴァシス株式会社<br>株式会社サンテック<br>株式会社シー・アール・シー | 旭化成株式会社(2)<br>三洋化成工業株式会社(4)<br>雪印メグミルク株式会社<br>サントリープロダクツ株式会社(2)<br>花王株式会社<br>株式会社伊藤園<br>第一三共プロファーマ株式会社 |                        |
|                                      | 計15名<br>就職者に占める割合88%                                                                                                                                                                                            | 計20名<br>就職者に占める割合87%                                                                                                                                                                                                                                                       | 計17名<br>就職者に占める割合81%                                                                                                                                                                                                                                                   | 計12名<br>就職者に占める割合67%                                                                                   | 県内計64名<br>就職者に占める割合81% |
| 求人数※2<br>(求人票の送付のあった企業の数)            | 271                                                                                                                                                                                                             | 265                                                                                                                                                                                                                                                                        | 209                                                                                                                                                                                                                                                                    | 172                                                                                                    | 917                    |

※1 同一企業から複数名の学生が内定を受けた場合、または同一の進学先に複数名の学生が合格した場合、その合格数をかっこ( )内に示しています。

※2 求人票については、学科指定のある場合はその学科にカウント、学科不問の場合はすべての学科にカウントしています。

【求人票提出企業】 県内企業 38社 県外企業 261社

沖縄高専では、平成24年3月に専攻科第2期生32名が修了します。  
うち15名が進学、17名が就職を希望しています。  
各コースごとの進路決定状況は下記のとおりです。

## 【2012年3月修了予定者 (専攻科2期生)の進路状況】

### ◆就職・進学内定状況◆

平成24年2月現在

|                                                      | 機械システム<br>工学コース                | 電子通信システム<br>工学コース                                                      | 情報<br>工学コース                                                      | 生物資源<br>工学コース              | 合計                                                                           |                            |
|------------------------------------------------------|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 修了予定者                                                | 9                              | 10                                                                     | 3                                                                | 10                         | 32                                                                           |                            |
| 進学内定状況                                               | 進学希望者                          | 7                                                                      | 4                                                                | 0                          | 4                                                                            | 15                         |
|                                                      | 合格者数                           | 6                                                                      | 4                                                                | 0                          | 2                                                                            | 12                         |
|                                                      | うち<br>大学院等進学                   | 6                                                                      | 4                                                                | 0                          | 2                                                                            | 12                         |
|                                                      | 進学決定率<br>(合格者数/<br>進学希望者数)     | 85.7%                                                                  | 100.0%                                                           | —                          | 50.0%                                                                        | 80.0%                      |
|                                                      | 進学先※1                          | 九州大学大学院<br>東京大学大学院<br>大阪大学大学院<br>熊本大学大学院<br>東北大学大学院<br>長岡技術科学<br>大学大学院 | 九州大学大学院<br>豊橋技術科学<br>大学大学院<br>東京工業大学<br>大学院<br>奈良先端科学<br>技術大学大学院 |                            | 奈良先端科学<br>技術大学大学院<br>京都大学大学院                                                 |                            |
| 就職内定状況                                               | 就職希望者数                         | 2                                                                      | 6                                                                | 3                          | 6                                                                            | 17                         |
|                                                      | 内定学生数                          | 2                                                                      | 6                                                                | 3                          | 6                                                                            | 17                         |
|                                                      | 内定率<br>(内定学生数/<br>就職希望者数)      | 100.0%                                                                 | 100.0%                                                           | 100.0%                     | 100.0%                                                                       | 100.0%                     |
|                                                      | 内定先企業名<br>(県内)<br>県内に本社のある企業※1 |                                                                        | クオリサイト<br>テクノロジー<br>沖縄電ビルシ<br>ステム株式会社<br>翔南製糖<br>株式会社<br>沖縄県庁    |                            | 沖縄製粉<br>株式会社<br>オリオンビール<br>株式会社<br>金秀バイオ<br>株式会社<br>株式会社<br>EM研究機構<br>沖縄明治乳業 |                            |
|                                                      |                                | 内定学生0名<br>内定者に占める<br>割合0%                                              | 内定学生4名<br>内定者に占める<br>割合67%                                       | 内定学生0名<br>内定者に占める<br>割合0%  | 内定学生5名<br>内定者に占める<br>割合83%                                                   | 内定学生9名<br>内定者に占める<br>割合53% |
| 内定先企業名<br>(県外)<br>◎は沖縄県内に<br>支社または<br>事業所がある<br>企業※1 | 株式会社<br>ベアック◎<br>大和製罐<br>株式会社  | 三菱電機ビル<br>テクノサービス<br>株式会社<br>富士通株式会社                                   | テクノ・トツパン・<br>フォームズ<br>株式会社<br>株式会社<br>テクノスジャパン<br>株式会社<br>アルウィン  | 旭化成株式会社                    |                                                                              |                            |
|                                                      | 内定学生2名<br>内定者に占める<br>割合100%    | 内定学生2名<br>内定者に占める<br>割合33%                                             | 内定学生3名<br>内定者に占める<br>割合100%                                      | 内定学生1名<br>内定者に占める<br>割合17% | 内定学生8名<br>内定者に占める<br>割合47%                                                   |                            |
| 求人数※2<br>(求人票の送付の<br>あった企業の数)                        | 185                            |                                                                        |                                                                  |                            |                                                                              |                            |

※1 同一企業から複数名の学生が内定を受けた場合、または同一の進学先に複数名の学生が合格した場合、その合格数をかっこ( )内に示しています。

※2 求人票については、学科指定のある場合はその学科にカウント、学科不問の場合はすべての学科にカウントしています。

【求人票提出企業】 県内企業 21社 県外企業 164社

# 修了生へ 贈る言葉

— 専攻科長 —



専攻科長  
知念 幸勇

専攻科の第2期生のみなさん、専攻科修了おめでとうございます。専攻科2期生は専攻科設置の年に、1期生の選抜試験が3月に終わる間もなく、4、5月に推薦選抜、学力選抜試験をそれぞれ経て入学が内定するという、1期生とほぼ重なる受験期間を経験してきました。従って、まだ、身近に専攻科という具体的なイメージを描ききれないまま進学してきた学生もいたかと思えます。しかし、このときの入学生数は37名で、これまでで最も多くの学生が入学しました。専攻科では高専本科や大学学部と違い、特別研究を中心にした自主・自律的な学修態度が求められます。その点では、むしろ大学院の教育システムに近いと言えます。自分で考えて学修・研究時間を設定する自由度が大幅に増えています。このシステムを有効に活用出来た学生にとっては恵まれた環境ではなかったかと思えます。逆に、本科の延長気分で進学してきた学生には厳しい試練になったと思えますが、今後の就職・進学で、この経験を生かして頂きたいと思えます。

専攻科の大きなメリットとして、大学院への進学があげられます。特に学部を持たない大学院大学や、大学院生の数が学部よりも多い大規模大学での大学院入試は推薦制度や口頭試問など、専攻科生にとって有利な条件が揃っており、2期生の進路として多くの実績を残しました。他方、就職面では、大学生の厳しい就職戦線の影響を受け、かなり苦戦しました。その中でも、高専の推薦枠をうまく活用して内定を勝ち取った学生は大学卒と同等待遇で働けるため、競争率100倍以上ともいわれる大学生の就職に比べて恵まれた進路選択になったかと思えます。

2年に進級後、就職・進学試験、学修成果レポート作成、小論文試験と大きな課題をこなし、息継ぐ暇もなく年を越しましたが、専攻科特別研究論文集の作成で1月が過ぎました。皆さんの研究成果は、沖縄高専専攻科で一生懸命に取り組んだ貴重な軌跡として全国の高専や県内の大学に配付されます。将来、国内のどの地域でも機会があれば保管先の図書館を訪問して閲覧できます。また、1月には琉大工学部の大学院生・学部生との研究発表交流会に参加された専攻科生も多数いました。大学院生・大学生と比較しても全く遜色のない研究成果のプレゼンを行ったと言えます。遠隔地にある高専というハンディを軽減するために、2期生から専攻科学生会発表支援制度が導入されました。この制度を活用して、国際学会をはじめ、多くの学会発表がなされました。専攻科生の最大課題である学位授与小論文試験では、後援会の経費援助のもとで凍えるような時期に福岡に飛び、それぞれの学修成果レポートについての問題を解いてきました。1期生に続き2期生も受験生全員が可判定通知を受け取りました。受験者全員が合格していることを願って止みません。皆さんの今後の活躍を期待しております。

# 修了にあたって

— 創造システム工学専攻 —

## 機械システム工学コース



2 学年  
白久レイエス樹

今からここに高専にきて楽しかったことを書きます。

「入学して4年間毎日のようにロボコンやって最後に全国優勝して楽しかった。海中ロボットの研究を3年間やって実験して論文書いて発表して楽しかった。スケルトニクス製作委員会を友人含め3人で立ち上げ巨大ロボットを作ったような気持ちになり楽しかった。TOEICの点数が勉強するにしたがって少しずつ伸びていくのが楽しかった。1人でマレーシアに1ヶ月間インターンシップに行き楽しかった。院試でこれまで学んだ知識を復習して楽しかった。」

運よく結果がついてきたというのも多々ありますが、努力がむくわれる瞬間のスピード感が最高に爽快で何だって楽しく感じました。白久は一体いつまで遊んでいるのだと、先生方に怒られてしまいそうですが、何事も“楽しく”行うことが私のモットーであり、楽しめないことに結果がついてくることはありませんでした。

高専は本当に素晴らしい場所だと思います。先生方、また学生の中にも、あらゆるジャンルのスペシャリストがいて、わからないことがあっても必ず答えてくれる人がいます。それに設備も豊富で、高価な工作機械や実験器具を使えるチャンスが誰にでもあります。卒業となると、環境が変わる、周りを取り巻く人達も変わります。これら全ての可能性が無くなると思うと、寂しいというか、これからうまくやっていけるのかと不安になります。

でも、その寂しさや不安だって“楽しく”できるかもしれません。スポーツでもテレビゲームでもボードゲームでも、難易度が難しいゲームって“楽しく”感じませんか。野球で例えると、勝てる見込みがなく余裕がない状況での逆転ホームラン。そんな風に考えれば卒業だって悪くないのかもしれない。いえ、むしろわくわくしてきます。

最後に、お世話になった先生方、友人達、そして両親に感謝を申し上げます。おかげさまでいつも“楽しい”毎日でした。ありがとうございました。

## 電子通信システム工学コース



2 学年  
三ヶ森 晴香

時間が過ぎるのは早いもので、私が沖縄高専に入学して7年が経ちます。そしてとうとう、2年間所属した専攻科を修了します。卒業に向けた学位取得や卒業論文などで忙しい毎日を過ごしていても、卒業間近であるという意識はないままです。

思えば、常に何かに追われるように過ごしていました。時間割は少ないけれど確実に難易度が高くなった講義内容、より一層の成果が求められる特別研究や学会発表に

加え、各面での後輩の指導もありました。そして2年にあがってからは学位試験の準備と就活に全力でした。自身の至らなさや泣いたり、悩んだりすることもありましたが、すべて貴重な経験だったと今では言えます。

私が専攻科に入学して得た一番のものは、たくさんの繋がりと私입니다。遠い場所から連絡をくれる友人や、日々の授業や課題、イベントを乗り越える度に距離が縮まっていくクラスメート。特別研究、就活、学位試験などの指導、何かに躓くたびに助言や励ましを下される先生方。遠く離れながら私の健康を心配し、後押

ししてくれる両親。そんな方々からのサポートがあったから、常に不安を抱えていた本科の頃の私から大きく成長することができたと思っています。私に関わってくださったすべての人に、感謝を伝えたいです。ありがとうございました。

4月からはそれぞれの新しい生活が待っていますが、修了は終わりではありません。感謝を忘れず、これからも頑張っていきたいと思います。

## 情報工学コース



2 学年  
平安名 啓太

本科5年間、専攻科で+2年間、計7年間、小学生生活より長いこの期間を過ごした沖縄高専は、私にとって、とても思い出のある学校です。高専は、専門的な技術を学ぶことができる工学校。勉強は確かに苦しかったですが、頼れる友達、先生方にめぐり合えたおかげで、7年間無事に、やってこられたのだと感じ、本当に感謝しています。なかでも、専攻科1年のときには、企業との共同研究を行う機会をいただき、学校の先生だけでなく、

社会人の先輩からも、ご指導を受けることができ、非常に勉強になる研究開発を行うことができました。ありがとうございました。

専攻科の2年の思い出としては、就職活動と学位授与試験があります。就職活動は、本科5年で卒業し社会人となっていった友達のアドバイスを参考にしながら、就活を進めていき、思っていたよりも早く、自分の納得する会社から内定をもらうことができました。しかし、やはり内定もらえるまでの期間はものすごく不安であり、面接の際には緊張ばかり、本土に行くとなると金銭面的にも懸かりましたし、とても大変だったことには変わりありません。

学位授与試験は、専攻科生にとって一種のイベントだと思います。自分がやってきた研究内容が問われる試験、院に進学していく人たちにとっては、絶対に落とせない試験です。大学受験を受けていない私にとって、この試験は、高校受験以来の大事な試験となったイベントでした。まだ、結果はでておらず、期待と不安に心を浮き沈みさせながら結果を待っています。

最後に、高専で過ごした7年間の思い出により、私には、たくさんの先輩・仲間・後輩ができました。この関係を大事にし、社会人になっても笑い合える関係を作っていきたいです。

## 生物資源工学コース



2 学年  
島村 修司

Q: 沖縄高専へ入学を希望した理由を述べよ。  
A: なんとなく。

そんな学生は少なくないと思います。僕はそうでした。あえて言うなら、親に勧められたことだけが理由でした。そんな私が今は、研究者として社会に貢献するために訓練の日々を過ごしています。

幸運なことにこの学校の先生たちは、とても親身に僕を育ててくれました。あまりやる気の無い僕でも見捨てずに頭を悩ませてくれましたし、やる気を出してからは沢山のチャンスをくれました。また5年間という時間に余裕のある環境だからこそ、マイペースな私でも人並みに育つことができたと思います。そして僕は研究者の卵になりました。

そうして目指し始めた研究者という職業が、とても困難なものであることを学んだのが専攻科での2年間でした。研究者として世界と勝負するという高い理想がある一方で、成果はできません。体力も続きません。自信を失くし心も揺らぎ、迷走が続きました。迷いながらもどうにかやってこられたのは、友人たちに時には流され、時には支えられ、先生に褒められたり怒られたりしながら一喜一憂する中で、少しずつ心がタフに育っていったからだだと思います。

この7年間に私はたくさんの知識を学び、その半分を忘れてしまいました。しかし友人や先生との関係で学んだことは、あまり忘れることなく今の私を作っていると思います。そのような機会が、今悩んでいる人みんなに訪れることを願います。

# 高専祭

— 2011 —



機械システム工学科  
4年 與儀 賢策

こんにちは。第7回高専祭実行委員長を務めました、機械システム工学科4年の與儀賢策です。

沖縄高専では、去る11月12日・13日に、「Never Get Satisfied ～限界なんて無いさぁ～」のテーマの下に第7回高専祭が開催されました。

今年度のテーマには、限界を感じることもない沖縄高専生の発想と創造力を高専祭という舞台で発信しよう、という意味が込められています。

例年の高専祭では、開催直前の台風やインフルエンザ、当日の悪天候など様々な問題が立ちはだかってきたため、私たち実行委員の心配の種となっていました。ですが、今年は特に大きな問題もなく、当日は不安を吹き飛ばすような快晴と相成りました。これも、学生一人ひとりの高専祭を創り上げたいという想いが伝わった結果だと思えます。

今年度高専祭の目玉でもあった有志団体によるエイサーも大成功を収め、例年以上の盛り上がりのある高専祭になりました。これは、実行委員を始めとした学生全員を影から支えてくださった教職員や事務の方々、またスポンサーとして高専祭の運営にご協力してくださった企業の方々のお陰であるとひしひしと感じています。

高専祭実行委員長を務め、実行委員の仲間と運営をすることで、私自身の大きなステップアップにもなりました。実行委員の仲間と共に頑張ってきた日々をととても誇りに思っています。

最後に、ご来場くださった全ての方々、高専祭を開催する上で支えとなってくださった全ての方々に心より感謝申し上げます。これからも沖縄高専祭にご来場くださると嬉しく思います。



# 学生の活躍

- ・ロボコン全国大会
- ・各部活動 ・パソコン甲子園

## ～ロボット製作委員会～

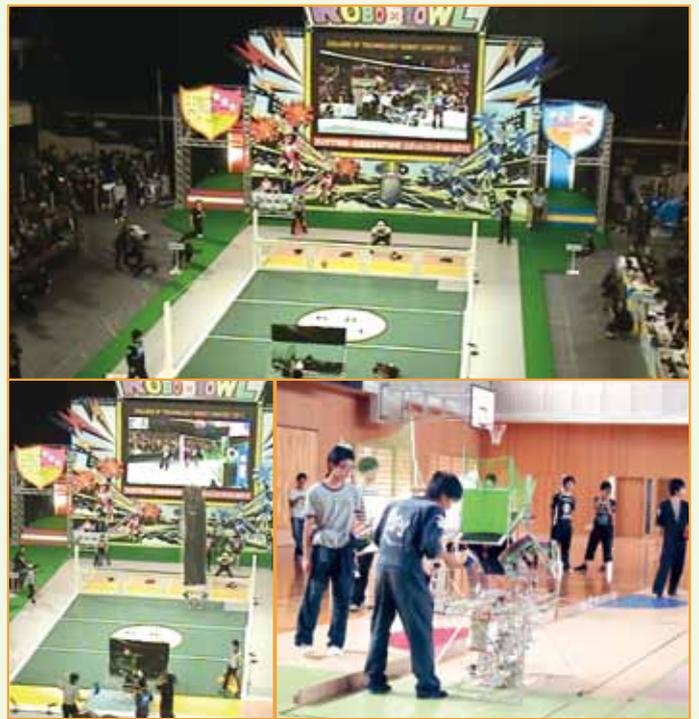
機械システム工学科 3 学年  
小橋川 秀太

私は中学生の頃から中学ロボコンをしていました。そこで、私自身ロボコンという活動は生活の一部となっていました。

2008 年度のロボコンでは全国優勝、2009 年度は九州優勝、全国大会出場、2010 年度は A,B チームとも九州大会止まりでした。昨年の悔しい思いもあり、今年度のロボコンの活動は A,B 両チームとも例年よりも早い段階から活動し、アイデア出し、実験、設計と何度も試行錯誤を行いながらロボコン活動を行ってきました。私自身は初めてのチームリーグということもありアイデア段階で行き詰ることやチームの運営方針、日程などを決める際などに悩む日が続きました。しかしこういう中で、何気ないチームメンバーの一言で救われたりとチームでの活動ということが素晴らしいことだと実感させられました。

設計、加工、組み立てとチームで行わなければならないことだらけで放課後はもちろん、休日や夏休みのほとんどをチームメンバーと一緒に活動しました。このとき、「仲間」の頼もしさを強く実感しました。

九州大会ではベスト 8 で判定負けとなってしまいました。



チームで練った自慢のアイデアで全国大会の切符を手に入れました。しかし全国大会ではマシントラブルで 1 回戦負けとなってしまいました。目標としていた「全国優勝」には届きませんでしたが、この 1 年間素晴らしいものを体験したと感じられました。

来年度は新しいチームとなり、皆それぞれの目標を持ちながら、沖縄高専での「全国優勝」を目標として、今年以上に試行錯誤を重ねて頑張りたいと思います。

## 全国高校等専門学校体育大会に参加して ー女子バスケットボール部ー

機械システム工学科 5 学年  
知念 美怜

女子バスケットボール部は 8 月 20、21 日に東京の駒沢オリンピック公園体育館で開催された全国高等専門学校体育大会バスケットボール競技に九州・沖縄地区代表として出場しました。二年ぶりの全国大会出場で全国を経験した部員が少なく、平均身長も低いチームでしたが、初めて決勝まで勝ち上がることが出来ました。

全国高等専門学校体育大会は 8 チームのトーナメント形式で 1 日目に 1 試合、2 日目に 2 試合と計 3 試合を戦いました。全試合厳しい戦いでしたが、一回戦は八戸高専に 69 - 57 で、準決勝は新居浜高専に 53 - 47 で勝利しました。決勝で戦った鈴鹿高専は三重県のインターハイにおいてベスト 4 に入ったこともあり、全国高等専門学校体育大会では 2 連覇しているとても強いチームでした。開始 5 分間沖縄高専は無得点の状態でしたが、会場にかけた保護者や卒業生のたくさんの応援に励まされ、粘りのバスケで後半は互角の戦いをしました。結果は 47 - 77 で負けてしまいましたが、過去最高の準優勝という成績をおさめることができました。

このような結果を残すことができたのも、指導者や顧問の先生などの大きな協力と応援に駆け付けてくれた卒業生や保護者の方があってこそだと思っています。

最後に、全国大会派遣に伴い資金造成の寄付等支えてくださった保護者の皆様ならびに教職員の皆様、心より感謝申し上げます。これからも頑張っていきますので応援よろしくをお願いします。



## 全国高校等専門学校体育大会に参加して 一水泳部一

生物資源工学科 3学年  
金城 朱理

2011年度、水泳部は九州・沖縄地区の高専大会にて、女子200m (50m×4) リレー・女子バタフライ50m (1年山城)・女子平泳ぎ100m (1年金城) の各3種目において準優勝を収めることができました。

その結果、沖縄高専の水泳部として初めて全国大会に出場することができました。

昨年まで水泳部は部員数が5、6人と少なく、それほど盛んな部活動ではありませんでした。

しかし今年は、力のある1年生の入部や、夏の強い日差しと温度の高いプールの中で、例年にない厳しい練習を部員全員で積み上げることができたからこそ、高専全国大会への出場が成し遂げられたことだと思っています。

全国大会では、女子バタフライ50m、女子平泳ぎ50mともに決勝進出することはできませんでしたが、一步前の順位まで上り詰め、女子400mリレーでは地区予選通りの順位でしたが、自己ベストタイムを縮めることができました。

今回初めて全国大会に出場したことで、他高専のことについて知り、たくさんの選手の泳ぎを見て学ぶことができました。

地区大会・全国大会に伴い資金支援して頂いた保護者の皆様や教職員の皆様、心よりお礼申し上げます。

今回の結果は、皆様のサポートや応援なくして得られなかった結果です。

水泳部一同、来年度も練習に力を入れ、レベルアップを目指し頑張っていきたいと思います。



大会後 with 東京高専



女子リレー表彰式 2011



水泳部

## 全国高等専門学校通信弓道大会に参加して 一弓道部一

生物資源工学科 4学年  
島袋 羽衣

昨年夏、全国高等専門学校通信弓道大会が行われました。この大会は、全国の高専弓道部が顧問教員と学生主事立ち会いのもと、それぞれの練習場で記録会や競技会を行い、その結果を持ち寄って優勝を決めるというものです。私たち沖縄高専弓道部は創部以来、毎年この大会に参加してきましたが、いい結果を残すことができていませんでした。しかし今回の大会でついに、女子団体の部で全国優勝、また個人的にも女子個人の部で準優勝という大きな成果を残すことができました。入学以来4年間弓道が続けてきましたが、このような形で結果として現れたことにとっても誇らしく感じています。実際のところ入部後1年間の私は、他の部員に比べてあまり弓道が上手くなく、大会では団体メンバーにも入れずにいました。それでも少しずつ練習を重ねて、他校のチームや選手と競い合っていく中で身につけた経験や力は、今考えると、そのすべてが今回の結果につながっていたのだと思います。

人数の少ない部活ではありますが、新しい部員たちも入り、活動もどんどん盛り上がってきています。頑張っている後輩たちを見ると、我々先輩としては越されないように練習しなきゃいけないと思う反面、後輩たちにはこれからも様々な大会で「沖縄高専弓道部」の名を刻んでほしいとも思います。今年度は通信弓道大会の他にも、県大会において男子個人の部で県3位という結果を残すなど、今までの努力が開花した弓道部でした。ここまで来られたことは、顧問教員の先生方、弓道部を支えて下さっている皆さんに感謝をしています。来

年度は、私たち4年生にとってラストチャンスとなる「高専大会」で良い成績を収めることを目標に、これからの練習に励んでいきたいです。



成績報告



女子団体

男子団体

## 沖縄県高等学校新人体育大会に参加して ー自転車同好会ー

機械システム工学科 2学年  
宮城 祥



自転車同好会は、私が入学と同時に設立し、今年で約2年になります。部員は、全員2年生の6人ととても少ないのですが、みんなそれぞれのレベルに合わせて日々努力しています。

今回のインターハイでは、皆で1kmタイムトライアル、スプリント、4kmチームパーシュート、スクラッチ、3kmインディヴィジュアルパーシュート、ロードレースに参加。

そのなかでもロードレースでは県内4位となり、九州大会に出場することができました。

半年後の新人大会では、上記の6つに加え4km速度競争、チームスプリントに出場しました。新人大会スクラッチ3位・ロードレース4位入賞。また、学校別では2位という好成績を収めることができました。

ここまで来れたのは、日々の練習の積み重ねやチームの結束があったおかげだと思います。

私たちは1年生の時のインターハイのロードレースでは集団についていけず、また他の種目でも結果を残すことができませんでした。沖縄県で無敵の北中城高校との力の差をとて感じました。その悔しさから、皆、レポートやテストで忙しい中、放課後の練習や夏休みや春休みは、練習量を上げ、石川の「チーム池原」のメンバー（一般の大人の人）との練習をがんばりました。

おかげで、今回インターハイでは、私が九州大会に出場することができたのですが、力・機材不足から好成績を出すことができませんでした。夏休みは北中城に行き、北中のメンバーとも一緒に練習しましたが、新人大会のロードレースで

あと一歩というところで全国大会を逃してしまいました。

今年はこの経験を生かし、春休みや放課後の練習量を上げ、最後のインターハイで、部員全員が九州出場。自分は、全国大会に出場という目標に向かい、僕たちを支えてくれている皆さんへの感謝の気持ちを忘れずにみんなで頑張っていきたいです。



新人大会



インターハイ表彰



新人大会学校別表彰

## パソコン甲子園に参加して ーひだまりくらぶー

私たちひだまりくらぶは、2011年の11月に福島県の会津市で行われたパソコン甲子園2011のデジタルコンテンツ部門に出場しました。デジタルコンテンツ部門とは、静止画や動画、音楽などwebブラウザで閲覧可能なコンテンツを取り扱っている部門です。私たちの所属しているデジタルアート部という部活は、この大会に出場し、賞をとることが例年の目標となっております。

作品制作は、2011年の4月から始め、トータルで約半年を費やしました。ストーリーやオブジェクトデザイン、モデリングやアニメーション、映像編集など一つの作業がとても大変で、何度も壁にぶつかりました。しかしその度に、こうすればどうだろう？ここはこうしたほうが良くなるのでは？などと、お互い挫けることなく妥協せずに、全力で作品制作にとりかかりました。そして先生や先輩方、友人などの支えもあり、無事に作品を仕上げることができました。完成した作品を色々な人に見てもらい、「よかったよ」「心があつたくなる」というような言葉を頂いたときはとても嬉しかったです。

パソコン甲子園本選のデジタルコンテンツ部門では、全国の高等学校・高等専門学校から選ばれた上位10チームが自分たちの作った作品をプレゼンテーション形式で発表していきました。凝った演出をしているチームも多数あり、見ていて楽しかったですし、いい刺激になりました。結果、私達ひだまりくらぶは準グランプリで、グランプリこそは逃してしまっ

たものの、本大会に出場できる最後の年にこのような賞をとれて嬉しかったです。

パソコン甲子園に出場し、一つの作品を仕上げ、賞をとれたことは私達にとって大きな財産です。今回経験したこと、得たものはこの先の人生で必ず生きていくことでしょう。今後はこれに満足せず、挑戦することをやめずに新しい作品を作り続けていきたいと思います。



◀左：メディア情報工学科3学年  
新垣 憂奈

◀右：メディア情報工学科3学年  
当真 早智衣



映像作品の1シーン  
スクリーンショット

# 地域連携事業

## 地域共同テクノセンター

沖縄高専では、地域共同テクノセンターを窓口として、地域社会との連携・交流の推進や教育・研究の充実ならびに人材育成に取り組んでいます。名護市・浦添市・うるま市との間で産業振興や人材育成等を目的として連携協定を締結しています。また、県立桜野特別支援学校とは、教育現場で必要とされる装置・教材等の検討・開発の連携協定を結び、研究成果の地域への進展につなげています。具体的な事業としては、沖縄高専施設見学会（本校）、沖縄高専フォーラム（那覇市）等を開催し、産業界との交流を深め、さらに、3D-CAD等各種講習会の開催、地域イベント（各産業まつり等）への参加を通して、沖縄高専の教育研究内容を地域へ発信しています。理科教育支援として、本島および離島地域の小・中学校等への出前授業を積極的に実施し、ものづくりの面白さと科学への興味のいざないとしてお手伝いも行っています。



うるま市との連携に関する協定の締結



沖縄の産業まつり



出前授業



高専フォーラム

## 香港研修旅行



情報通信システム工学科 3学年  
黒木 陵平

私達は、研修旅行で中国の香港を訪れました。

沖縄高専としては初となる海外研修でしたが、私たちが香港で何かを見るたびに、「でかい!」という言葉が出てくるぐらい、なにもかもが巨大であり、沖縄・日本と世界のスケールの違いを実感しました。

2日目には東芝電子アジアによる企業説明を受けました。企業説明だけではなく、半導体産業でのアジアの中の中国、日本の立ち位置やビジネスでの国による違いなどもお話いただき、大変勉強になりました。

また、4日目に訪問した香港中文大学では、研究内容の説明を全て英語で受けました。

残念ながら私の英語力では全ての内容を理解すること

は出来ず、改めて国際的な舞台での英語の必要性を認識させられました。

説明のあとでは構内のレストランで昼食をいただき、見学をサポートしてくださっていた学生さんと話す機会もありました。

そこでは、自分からあちらの学生さんに出来る限り話しかけるようにしていたので、ほんの少しではありますが親睦を深めることが出来ました。

英語・中国語を話すことができなくても、人とコミュニケーションを取ることは出来ますが、世界を相手にビジネスを行うのなら、やはり英語などの外国語を覚え、外国人ともやりあわなくてはなりません。

これからはグローバル化がますます進み、日本と世界の距離が縮まっていくと思います、そのことを自分たちの肌で感じる事が出来たため、今回の研修は非常に有意義なものであったと思います。

# 学生会／寮生会 後援会会長挨拶 保健室より

## 学生会より



メディア情報工学科  
4学年 金城 匡

ご無沙汰しております。今年度学生会長を務めておりますメディア情報工学科4年の金城匡です。

今年度も学生会は体育祭や高専祭、クラスマッチ、球技大会と多くの行事を開催いたしました。4月に行われた2年ぶりの体育祭は曇天の中の開催となりましたが、みなさんの体育祭にかける熱意が通じたのか雨が降ることはなく無事成功し、

11月の高専祭は、中夜祭や花火の打ち上げなど例年とは違った新しい取り組みがあり大盛況のうちに終わることが出来ました。どの行事も学生皆で力をあわせ大きな成功を収めることができ、この1年を無事終えることができました。

また、1年の終わりと共に別れの季節が近づいて参りました。卒業する先輩方に高専生活を気持ちよく締めくくってもらい旅立っていただけるよう、現在、卒業送別企画の準備が進んでいます。そして、4月には新1年生が入学し、また新しい1年が始まります。

学生会一同、新しい仲間を加え、来年度、今まで築き上げた経験を活かし、新しい挑戦を行い、ますます楽しく充実した学生生活をつくっていきけるようがんばっていきたく考えております。



◀ 体育祭



▶ 辺野古区運動会



▲ 留学生歓迎会



▲ 高専祭

## 寮生会より



メディア情報工学科  
3学年 稲福 也美

こんにちは。学生寮の女子副寮長を務めています、3年生メディア情報工学科の稲福也美と申します。

今年度も私たち寮生会では様々なことに取り組んで参りました。今年度の大きなイベントとして企画広報委員会を中心に夏の寮祭、冬の寮祭を開催しました。特に後期の12月21日(水)に行われた冬の寮祭では、寮生、寮外生問わず大勢の高専生が参加し、寮生参加ゲームや抽選会などを行いました。忙しい高専生にとって楽しい思い出となったのではないのでしょうか。また、住みやすく、きれいな寮を目指し、全寮生での毎月寮内大清掃を行いました。他にも寮生総会など様々なことに取り組んできましたが、寮生会を中心とした全寮生の協力があったからこそ無事に全ての行事を成功に収めることができたのだと思います。

寮生会の取り組みとしては、他高専との意見交換を行いました。今年度は台風の影響で他高専への寮視察に行くことはできなかったのですが、東京高専・熊本高専の寮生の方々が沖縄高専にいらっしゃいました。

沖縄高専は、他高専とは違い新設校であり、学生寮においてはまだうまく機能していない部分もありますが、新設校ならではの特徴を生かし、規則や協調性を学んだり、友達や思い出を作ったりできる楽しい沖縄高専学生寮を作っていきたいと考えています。

寮生会の運営へ協力して頂いている寮生のみなさん、事務の方、先生方、いつもありがとうございます。

平成24年度も沖縄高専学生寮をどうぞよろしくお願い致します。

## 後援会会長挨拶



後援会会長  
中本 正泰

今春、沖縄高専を卒業並びに修了する学生の皆様、本当におめでとうございます。これまで、高専ロボコンやパソコン甲子園をはじめ様々な分野での活躍、そして厳しい経済情勢の中での進学・就職活動など、目覚ましい実績を築いてこられたことに対し、深く敬意を表しております。

また、沖縄高専を卒業された皆様が、大学院や大学そして企業の中で、それぞれ地歩を固め、在学をけん引していく形が形成されつつあることを大変頼もしく思っているところであります。

昨年は、学校として、卒業生の就職した企業を研修旅行で訪問し直接意見交換を行ったと聞いております。後援会としては、支部の活動として、卒業生を招いて在学学生と保護者等との意見交換会を開催し、大変好評であったという報告を受けております。

後援会では、教育・研究活動や課外活動、進路指導等を支援しておりますが、こうした活動に加え、学校はもとより卒業生及び同窓会との連携を図ることにより、学生並びに保護者の皆様の進路や卒業後の不安の解消等に役立てていきたいと考えております。

今後とも学生の支援並びに会員同士の交流・連携を図ってまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

## 保健室より



◀本校看護師  
(左から岸本さん, 武村さん)



保健室は、皆さんが健康で楽しく学校生活が送れるように、サポートを行っています。

### ☆保健室ってどんなところ？

- ・怪我や具合が悪くなった時の応急処置をします。
- ・気になることや悩みがある時に体や心の相談や話を聞きます。
- ・学生相談室の窓口となり、カウンセラーによる相談の予約を受けています。
- ・学校の管理下で生じた怪我の災害共済給付の申請を行っています。
- ・健康診断の実施、健康診断結果の証明書の発行を行っています。
- ・寮で休んでいる学生を巡回訪室して病状を確認しアドバイスしています。

### ☆保健室を利用するときのルール！

- ・入退室時には、きちんと挨拶をしましょう。
- ・授業中は、担当教員に断ってから来室しましょう。
- ・保健室での休養は体調不良・気分不良者を対象に、1時間～2時間程度としています。
- ・保健室利用票に、学年・氏名・来室理由を記入して下さい。
- ・保健室で処置を受けたときは、必ず保護者に報告して下さい。
- ・ベッドで休んでいる学生がいる場合は静かにして下さい。
- ・ベッドで休んだ後は、自分で使用した寝具を整えましょう。

☆長期の休みで生活習慣を乱さず、基本的な生活習慣を見直しましょう。

～ 十分な睡眠 ～  
～ 適度な運動 ～  
～ 一日三食 ～



## 100分授業から90分授業への改正について

本校では、平成16年4月の本科1期生受入れ時から時間割編成上の1コマを100分とし授業を行ってきました。

平成21年3月本科1期生卒業、平成23年3月専攻科1期生の修了にあたり、これまでの100分授業の学生に対する学習・教育効果、学生の学校生活及び課外活等に与える効果等についての評価・検証を行った結果、下記の理由等により時間割編成上の1コマを90分に改正いたします。

－ 記 －

- ① 100分授業時間の教育内容を90分授業時間内で密度の濃い集中した環境において実施することにより、学習・教育効果を高め、学生の集中力を養成するとともに授業時間外の自学・自習を促進する。
- ② 学生の授業時間外の能動的、自律的な自主学習時間を確保する。
- ③ 放課後に学生が質問等で教員の研究室を訪れることができる時間帯の拡大を図る。
- ④ 人間形成、心身の鍛錬及び学生間の連帯感及び連携の醸成等に大きな効果をもたらす課外活動時間を確保する。
- ⑤ 学生相談等の時間を確保し支援体制の充実を図る。
- ⑥ 昼休憩時間を1時間とし、食事時間、学生間のコミュニケーションタイム、リフレッシュタイムを十分確保することにより、午後の学習効果を高める。
- ⑦ 放課後時間の拡大による寮生活のさらなる充実を図る。

| 日課表     | 旧           | 新           | 備考                             |
|---------|-------------|-------------|--------------------------------|
| SHR     | 8:30～ 8:40  | 8:30～ 8:40  |                                |
| 1時限     | 8:40～10:20  | 8:40～10:10  |                                |
| 休憩      | 10:20～10:30 | 10:10～10:20 |                                |
| 2時限     | 10:30～12:10 | 10:20～11:50 |                                |
| 昼休み     | 12:10～13:00 | 11:50～12:50 | 50分→60分                        |
| 3時限     | 13:00～14:40 | 12:50～14:20 |                                |
| 休憩      | 14:40～14:50 | 14:20～14:30 |                                |
| 4時限     | 14:50～16:30 | 14:30～16:00 |                                |
| 休憩      |             | 16:00～16:10 | ※通常講義は4時限まで。補講等の実施はこの時間帯で行います。 |
| 予備・補講時限 |             | 16:10～17:40 |                                |

## 平成24年度学生募集結果一覧

### ◆推薦による選抜

|             | 志願者数 |    | 合格者数 |    |
|-------------|------|----|------|----|
|             | 男子   | 女子 | 男子   | 女子 |
| 機械システム工学科   | 15   | 0  | 12   | 0  |
| 情報通信システム工学科 | 18   | 4  | 13   | 3  |
| メディア情報工学科   | 16   | 7  | 9    | 4  |
| 生物資源工学科     | 9    | 18 | 2    | 13 |
| 男女別計        | 58   | 29 | 36   | 20 |
| 合計          | 87   |    | 56   |    |

### ◆専門実習(自己推薦)による選抜

|           | 志願者数 |    | 合格者数 |    |
|-----------|------|----|------|----|
|           | 男子   | 女子 | 男子   | 女子 |
| メディア情報工学科 | 29   | 5  | 5    | 1  |
| 合計        | 34   |    | 6    |    |

### ◆学力による選抜

|             | 志願者数 |    | 合格者数 |    |
|-------------|------|----|------|----|
|             | 男子   | 女子 | 男子   | 女子 |
| 機械システム工学科   | 48   | 1  | 29   | 0  |
| 情報通信システム工学科 | 39   | 6  | 24   | 4  |
| メディア情報工学科   | 56   | 15 | 17   | 6  |
| 生物資源工学科     | 30   | 19 | 17   | 11 |
| 男女別計        | 173  | 41 | 87   | 21 |
| 合計          | 214  |    | 108  |    |

# 平成24年度(前期)行事予定表

| 4月   |                                                                             | 5月         |                                       | 6月                       |                                   | 7月                                |                        | 8月       |                                          | 9月                    |                      |
|------|-----------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------------------------|--------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------|----------|------------------------------------------|-----------------------|----------------------|
| 1 日  | 春季休業<br>在校生開寮                                                               | 1 火        |                                       | 1 金                      | 予備日 県高校総体                         | 1 日                               |                        | 1 水      | 予備日<br>中学校教員等対象説明会<br>(予定)               | 1 土                   |                      |
| 2 月  |                                                                             | 2 水        |                                       | 2 土                      | 後援会総会<br>(ちやたんニライセンター)            | 2 月                               |                        | 2 木      | 前期末試験                                    | 2 日                   |                      |
| 3 火  | 入学式<br>新入生入寮<br>入寮式・開寮式・対面式                                                 | 3 木        | 憲法記念日                                 | 3 日                      |                                   | 3 火                               |                        | 3 金      |                                          | 3 月                   |                      |
| 4 水  | 新入生オリエンテーション<br>健康診断、LHR・校長講和(5年生)<br>課題確認試験(数学・本科1年)<br>教科書販売、新入生のノートPC設定会 | 4 金        | みどりの日                                 | 4 月                      |                                   | 4 水                               |                        | 4 土      |                                          | 4 火                   |                      |
| 5 木  | オリエンテーション<br>健康診断<br>教科書販売、新入生のノートPC設定会                                     | 5 土        | こどもの日                                 | 5 火                      |                                   | 5 木                               |                        | 5 日      |                                          | 5 水                   |                      |
| 6 金  | 全学年授業開始                                                                     | 6 日        |                                       | 6 水                      |                                   | 6 金                               |                        | 6 月      |                                          | 6 木                   |                      |
| 7 土  |                                                                             | 7 月        | 専攻科学力選抜願書受付                           | 7 木                      |                                   | 7 土                               |                        | 7 火      |                                          | 7 金                   |                      |
| 8 日  |                                                                             | 8 火        | 木曜日の授業                                | 8 金                      |                                   | 8 日                               |                        | 8 水      | 試験返却日<br>交通安全講習会(全学生対象)<br>校内美化清掃(学生会主催) | 8 土                   |                      |
| 9 月  | 専攻科推薦選抜願書受付                                                                 | 9 水        | 薬物に関する講演会<br>(1年生対象LHR)<br>第1回定期学生会議会 | 9 土                      |                                   | 9 月                               |                        | 9 木      | 学生寮居室点検・清掃                               | 9 日                   |                      |
| 10 火 | 開校記念日                                                                       | 10 木       |                                       | 10 日                     | 交通安全期間                            | 10 火                              |                        | 10 金     | 中学校教員等対象説明会<br>(予定)                      | 10 月                  |                      |
| 11 水 | 部活動紹介<br>(学生会主催)                                                            | 11 金       | 専攻科入学確約書<br>提出期限                      | 11 月                     | 中間試験                              | 11 水                              |                        | 11 土     | 閉寮式                                      | 11 火                  |                      |
| 12 木 |                                                                             | 12 土       | 地域清掃(学生会主催)                           | 12 火                     |                                   | 12 木                              |                        | 12 日     | 閉寮                                       | 12 水                  |                      |
| 13 金 |                                                                             | 13 日       |                                       | 13 水                     |                                   | 13 金                              |                        | 13 月     | 体育祭の振替休日<br>完全閉寮                         | 13 木                  |                      |
| 14 土 |                                                                             | 14 月       |                                       | 14 木                     |                                   | 14 土                              |                        | 14 火     | 夏季休業<br>夏季一斉休業                           | 14 金                  |                      |
| 15 日 |                                                                             | 15 火       |                                       | 15 金                     |                                   | 15 日                              |                        | 15 水     |                                          | 15 土                  |                      |
| 16 月 | 学生寮避難訓練                                                                     | 16 水       | 学生寮月例大掃除                              | 16 土                     |                                   | 16 月                              | 海の日                    | 16 木     |                                          | 16 日                  |                      |
| 17 火 |                                                                             | 17 木       |                                       | 17 日                     |                                   | 17 火                              | 金曜日の授業                 | 17 金     |                                          | 17 月                  | 敬老の日                 |
| 18 水 | 交通安全講習会<br>(全学生対象)<br>学生寮月例大掃除                                              | 18 金       |                                       | 18 月                     |                                   | 18 水                              | 学生寮月例大掃除               | 18 土     |                                          | 18 火                  |                      |
| 19 木 |                                                                             | 19 土       | 専攻科学力選抜試験                             | 19 火                     |                                   | 19 木                              |                        | 19 日     |                                          | 19 水                  |                      |
| 20 金 |                                                                             | 20 日       |                                       | 20 水                     | 学生寮月例大掃除                          | 20 金                              | 九州・沖縄地区高等体育大会<br>臨時休業日 | 20 月     |                                          | 20 木                  |                      |
| 21 土 | 専攻科推薦選抜試験                                                                   | 21 月       |                                       | 21 木                     |                                   | 21 土                              |                        | 21 火     |                                          | 21 金                  |                      |
| 22 日 |                                                                             | 22 火       |                                       | 22 金                     |                                   | 22 日                              |                        | 22 水     |                                          | 22 土                  | 秋分の日<br>開寮           |
| 23 月 |                                                                             | 23 水       | 専攻科学力選抜判定会議                           | 23 土                     | 慰霊の日                              | 23 月                              | 編入学試験願書受付<br>(予定)      | 23 木     |                                          | 23 日                  | 開寮式                  |
| 24 火 |                                                                             | 24 木       |                                       | 24 日                     |                                   | 24 火                              |                        | 24 金     | 編入学試験(予定)                                | 24 月                  | 後期授業開始               |
| 25 水 | 専攻科推薦選抜判定会議                                                                 | 25 金       | 専攻科学力選抜結果通知                           | 25 月                     |                                   | 25 水                              | 第2回定期学生会議会             | 25 土     |                                          | 25 火                  |                      |
| 26 木 | 専攻科推薦選抜結果通知                                                                 | 26 土       |                                       | 26 火                     |                                   | 26 木                              |                        | 26 日     |                                          | 26 水                  |                      |
| 27 金 |                                                                             | 27 日       |                                       | 27 水                     | 校内美化清掃<br>(学生会主催)                 | 27 金                              |                        | 27 月     |                                          | 27 木                  |                      |
| 28 土 | 体育祭                                                                         | 28 月       |                                       | 28 木                     | 公開授業週間・寮見学会<br>学級・学科懇談会・<br>保護者面談 | 28 土                              | サマースクール(予定)            | 28 火     |                                          | 28 日                  | 専攻科学力選抜入学<br>確約書提出期限 |
| 29 日 | 昭和の日                                                                        | 29 火       |                                       | 29 金                     |                                   | 29 日                              |                        | 29 水     | 編入学試験判定会議(予定)                            | 29 土                  |                      |
| 30 月 | 振替休日                                                                        | 30 水       | 中間試験<br>(複数同時実施科目)                    | 30 土                     | オープンキャンパス                         | 30 月                              |                        | 30 木     | 編入学試験合格発表(予定)                            | 30 日                  |                      |
| 31 日 |                                                                             | 31 木       |                                       |                          |                                   | 31 火                              |                        | 31 金     |                                          |                       |                      |
| 備考   |                                                                             | ・寮生総会(寮生会) |                                       | ・県高校総体<br>・前期球技大会(学生会主催) |                                   | ・笹の掲示(7/2~7/6)(学生会)<br>・夏の寮祭(寮生会) |                        | ・図書館蔵書点検 |                                          | ・産学連携協力会施設見学会<br>(予定) |                      |